



台風21号が接近! 大雨に対応

災害対策支部を設置し パトロールを実施

■10月22日から23日にかけて県内では台風21号の接近に伴う大雨により、国道45号階上観測所で連続雨量が161ミリを記録するなど、各地で大雨に見舞われました。

※写真は10月23日 当事務所災害対策室での対応の様子

10/23排水ポンプ車・照明車稼動状況
(馬淵川 浅水川排水樋門：八戸市尻内)



■ 4 観測所で連続120^{mm}以上の雨を観測、 馬淵川でははん濫注意水位を超える。

当事務所管内の階上・陣場・上野・八戸国道の各観測所で連続雨量が120mm以上を観測、また馬淵川の櫛引橋の水位がはん濫注意水位を超える5.02m(23日20時10分)を記録しました。

そのため、河川・道路それぞれ災害対策支部「警戒体制」を設置、パトロールを行い安全の確認を行いました。

■自治体支援にも備え

また、自治体からの支援要請に迅速に対応できるよう被害等の情報収集を行い、馬淵川の浅水川排水樋門と長苗代第二排水樋管に排水ポンプ車と照明車を設置し内水排除作業を実施しました。

なお、パトロールにより異常は確認されなかったことなどから、23日21時50分に道路、24日10時00分に河川の災害対策支部の体制をそれぞれ解除しました。

10/23排水ポンプ車稼動状況
(馬淵川 長苗代第二排水樋管：八戸市長苗代)

